

第2節 HAWB情報等の訂正手続

前節（混載貨物関係手続）においてシステムに登録されたHAWB情報等を訂正する場合は、この節の定めるところによる。

1 HAWB情報及び混載貨物確認情報の訂正

(1) 訂正の種類

前節3（HAWB情報及び混載貨物確認情報の突合処理）により配信された「不突合情報（DISCREPANCY NOTICE）（括弧内英字は帳票タイトル）」（出力情報コード：AAS0180）により、不突合表示、不突合事由コード及びスプリット等貨物の状態を確認の上、次の訂正を行う。

イ 不突合事由が「MSCA」（未突合）の場合

(イ) HAWB情報を誤ってシステムに登録した場合は、後記(2)（HAWB情報の削除又は追加）により、HAWB情報を取り消す。

(ロ) 突合させる場合は、後記(3)（混載貨物確認情報の削除又は追加）により、混載貨物確認情報を追加する。

ロ 不突合事由が「MSAW」（未突合）の場合

(イ) 突合させる場合は、後記(2)（HAWB情報の削除又は追加）により、HAWB情報を追加する。

(ロ) 混載貨物確認情報を誤ってシステムに登録した場合は、後記(3)（混載貨物確認情報の削除又は追加）により、混載貨物確認情報を取り消す。

ハ 不突合事由が「OVER」（不突合）、「WGT」（重量不突合）又は「SPLIT」（スプリット）の場合

後記(4)（輸入貨物情報の訂正）により、訂正する。

ニ 不突合事由が「*J*」（未突合）又は「*U*」（未突合）の場合

前節2（混載貨物確認情報の登録）により、貨物確認情報の登録を行う。

(2) HAWB情報の削除又は追加

イ 登録の方法

「HAWB情報訂正」業務（業務コード：CHA）を利用して、次の事項を入力し送信する。

なお、訂正することができる項目は、次のとおりであるが、項目の詳細については、前節1（HAWB情報の登録）を参照すること。

[1] 訂正理由コード（「訂正理由」欄）

次の区分に応じたコードを必須入力する。

(イ) AWB情報を追加する場合

区 分	コード
入力ミス	MST
原因調査中※	TRC

(ロ) AWB情報を取消しする場合

区 分	コード
削除	DEL

※ AWB等関係書類の到着遅延等の理由により、訂正を一時保留する旨をシステムに登録し、訂正事項が確定した後、訂正する必要がある。

訂正可能となる項目は次のとおり。

○：訂正可、×：訂正不可

項目名 (入力画面)	追加	削除 原因調査中
MAWB番号 (「MAWB番号*」欄)	○	○
孫混載表示 (「孫混載」欄)	○	○
委託元混載業 (「委託元混載業」欄)	○	○
到着便名1 (「到着便名*」欄左)	○	○
到着便名2 (「到着便名*」欄中)	○	○
到着空港 (「到着便名*」欄右)	○	○
仕出地 (「仕出地*」欄)	○	○
HAWB番号 (「HAWB番号」欄)	○	○
総個数 (「総個数」欄)	○	×
総重量 (「総重量」欄左)	○	×
重量単位コード (「総重量」欄右)	○	×
品名 (「品名」欄)	○	×
特殊貨物記号 (「SPC」欄)	○	×
仕向地 (「仕向地」欄)	○	×
搬入保税蔵置場 (「搬入地域」欄)	○	×
荷送人名 (「荷送人」欄)	○	×
荷送人住所 (「荷送人住所」欄)	○	×
荷送人電話番号 (「荷送人電話番号」欄)	○	×
荷受人コード (「荷受人」欄左)	○	×
荷受人名 (「荷受人」欄右)	○	×
荷受人住所 (「荷受人住所」欄)	○	×
荷受人電話番号 (「荷受人電話番号」欄)	○	×

ロ 出力情報

前記イ（登録の方法）によりHAWB情報が訂正等された場合は、次の情報がそれぞれ配信される。

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
搬入状況通知情報 (輸入) (BOND IN STATUS INFORMATION) (※)	AAS0110	次の全ての条件に該当する場合。 ① 突合済みである場合。 ② 税関への届出を必要とする事故 貨物が存在する場合。	登録者
			委託元混載業者
			「混載貨物確認情報 登録」業務（業務コ ード：HPK）を実

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
			施した保税蔵置場 「混載貨物確認情報登録」業務（業務コード：HPK）を実施した保税蔵置場を管轄する税関（保税担当部門）
訂正（保留）控情報B (CORRECT (SUSPEND) NOTICE) (※)	AAS0281	なし。	登録者 委託元混載業者
訂正（保留）確認情報B (CORRECT (SUSPEND) NOTICE) (※)	AAS0291	「混載貨物確認情報登録」業務（業務コード：HPK）による終了入力が行われている場合。	「混載貨物確認情報登録」業務（業務コード：HPK）を実施した保税蔵置場を管轄する税関（保税担当部門）
		次の条件を全て満たす場合。 ① 「混載貨物確認情報登録」業務（業務コード：HPK）による終了入力が行われていない場合。 ② 「HAWB情報登録（輸入）」業務（業務コード：HCH01）で税関官署が入力されていない場合。	到着空港を管轄する税関（保税担当部門）
		次の条件を全て満たす場合。 ① 「混載貨物確認情報登録」業務（業務コード：HPK）による終了入力が行われていない場合。 ② 「HAWB情報登録（輸入）」業務（業務コード：HCH01）で税関官署が入力されている場合。	「HAWB情報登録（輸入）」業務（業務コード：HCH01）で入力された税関（保税担当部門）
不一致情報B (UNMATCH LIST (URGENT CARGO (CANCEL))) (※)	AAS0221	貨物到着前輸入申告扱いの予備申告、貨物到着前輸入申告扱いの輸入（引取）申告又は到着即時輸入申告扱い予備申告（税関空港で貨物を引き取る場合又は航空貨物の集積所で貨物を引き	税関（通関担当部門） 通関業者

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
		取る場合) の登録がされたHAWB番号について本申告許可後に「HAWB情報訂正」業務(業務コード:CHA)により削除がされた場合。	
保税関係確認情報	AAL5010	<p>入力されたHAWBに対して次の条件を全て満たす場合。</p> <p>① 税関届出用の特殊貨物記号が入力されている場合。</p> <p>② 本業務による当該情報の配信先がシステム設定されている場合。</p> <p>③ 「混載貨物確認情報登録」業務(業務コード:HPK)が実施されている場合。</p>	「混載貨物確認情報登録」業務(業務コード:HPK)を実施した保税蔵置場を管轄する税関(保税担当部門)
		<p>入力されたHAWBに対して次の条件を全て満たす場合。</p> <p>① 税関届出用の特殊貨物記号が入力されている場合。</p> <p>② 本業務による当該情報の配信先がシステム設定されていない場合。</p> <p>③ 「HAWB情報登録(輸入)」業務(業務コード:HCH01)で税関官署が入力されている場合。</p>	「HAWB情報登録(輸入)」業務(業務コード:HCH01)で入力された税関(保税担当部門)
		<p>入力されたHAWBに対して次の条件を全て満たす場合。</p> <p>① 税関届出用の特殊貨物記号が入力されている場合。</p> <p>② 本業務による当該情報の配信先がシステム設定されていない場合。</p> <p>③ 「HAWB情報登録(輸入)」業務(業務コード:HCH01)で税関官署が入力されていない場合。</p>	到着空港を管轄する税関(保税担当部門)

※括弧内は帳票タイトル

(3) 混載貨物確認情報の削除又は追加

イ 登録の方法

「混載貨物確認情報訂正」業務(業務コード:CHP)を利用して、次の事項を入力し

送信する。

なお、訂正可能となる項目は、次のとおりであるが、項目の詳細については、前節2（混載貨物確認情報の登録）を参照すること。

○：訂正可、×：訂正不可

項目名（入力画面）	削除	追加
MAWB番号（「MAWB番号*」欄）	○	○
孫混載及び無料期間適用表示（「孫混載及び無料期間適用表示」欄）	○	○
到着便名1（「到着便名*」欄左）	○	○
到着便名2（「到着便名*」欄中）	○	○
到着空港（「到着便名*」欄右）	○	○
混載業（「混載業*」欄）	○	○
HAWB番号（「HAWB番号」欄）	○	○
個数（「個数」欄）	×	○
重量（「重量」欄左）	×	○
重量単位コード（「重量」欄右）	×	○
特殊貨物記号（「SPC」欄）	×	○

ロ 出力情報

前記イ（登録の方法）によりシステムに登録された場合は、次の情報がそれぞれ配信される。

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
訂正（保留）控情報B （CORRECT（SUSPEND） NOTICE）（※）	AAS0281	なし。	登録者
訂正（保留）確認情報 B （CORRECT（SUSPEND） NOTICE）（※）	AAS0291	なし。	蔵置場所の管轄税関 （保税担当部門）
保税関係確認情報	AAL5010	次の条件を全て満たす場合。 ① 税関届出用の特殊貨物記号が 入力されたHAWBが存在す る場合。 ② 「HAWB情報登録（輸入）」 業務（業務コード：HCH0 1）により、「混載貨物確認情 報登録」業務（業務コード： HPK）を実施した保税蔵置 場を管轄する税関に対して当 該情報を出力する旨がシステ ムに登録されており、かつ、	

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
		システムに登録されている税関届出用の特殊貨物記号が本業務で入力した税関届出用の特殊貨物記号と異なる場合。	
他所蔵置搬入確認情報（輸入）	A A S 0 1 7 0	他所蔵置貨物を追加する場合。	蔵置場所の管轄税関（保税担当部門）

※括弧内英字は帳票タイトル

(4) 輸入貨物情報の訂正

イ 訂正等可能な項目

システムに登録された輸入貨物情報について、訂正する場合は、「輸入貨物情報変更登録」業務（業務コード：C A I 0 1）を利用して訂正する。

なお、訂正等可能な項目は、次のとおりであるが、次に掲げる項目以外については、後記4（輸入申告中における貨物情報の変更手続）により訂正する。

①入力者が保税蔵置場の場合

○：訂正可、×：訂正不可

項目名（入力画面）	HAWB情報の訂正			
	MAWBに対する輸入貨物情報DBに混載情報有り		MAWBに対する輸入貨物情報DBに混載情報無し	
	未突合	未突合以外	未突合	未突合以外
品名（「品名」欄）	×	○	×	○
仕出地（「仕出地」欄）	×	○	×	○
総個数（「総個数」欄）	×	○	×	○
総重量（「総重量」欄）	×	○	×	○
特殊貨物記号（「SPC」欄）	×	○	×	○
社用品（「社用品」欄）	×	×	×	×
荷送人名（「荷送人」欄）	×	×	×	×
荷送人住所（「荷送人住所」欄）	×	×	×	×
荷送人電話番号（「荷送人電話番号」欄）	×	×	×	×
荷受人コード（「荷受人」欄左）	×	×	×	×
荷受人名（「荷受人」欄右）	×	×	×	×
荷受人住所（「荷受人住所」欄）	×	×	×	×
荷受人電話番号（「荷受人電話番号」欄）	×	×	×	×
到着便名（「到着便名」欄）	×	×	×	×

項目名（入力画面）	HAWB情報の訂正			
	MAWBに対する輸入貨物 情報DBに混載情報有り		MAWBに対する輸入貨物 情報DBに混載情報無し	
	未 突 合	未 突 合 以 外	未 突 合	未 突 合 以 外
到着空港（「到着便名」欄）	×	×	×	×
到着年月日（「到着年月日」欄）	×	○	×	○
搬入年月日（「搬入年月日」欄）	×	○	×	○
個数（「個数」欄）	×	○	×	○
重量（「重量」欄）	×	○	×	○
保税蔵置場（「蔵置場」欄）	×	○	×	○
仕向地（「仕向地」欄）	×	○	×	○
運送種別（「種別」欄）	×	×	×	×
ULD（「U」欄）	×	×	×	×
突合済表示（「突合」欄）	×	×	×	○

②入力者が混載業者又は航空会社の場合

○：訂正可、×：訂正不可

項目名（入力画面）	HAWB情報の訂正			
	MAWBに対する輸入貨物 情報DBに混載情報有り		MAWBに対する輸入貨物 情報DBに混載情報無し	
	未 突 合	未 突 合 以 外	未 突 合	未 突 合 以 外
品名（「品名」欄）	×	○	×	○
仕出地（「仕出地」欄）	×	○	×	○
総個数（「総個数」欄）	×	○	×	○
総重量（「総重量」欄）	×	○	×	○
特殊貨物記号（「SPC」欄）	×	×	×	×
社用品（「社用品」欄）	×	×	×	×
荷送人名（「荷送人」欄）	×	○	×	○
荷送人住所（「荷送人住所」欄）	×	○	×	○
荷送人電話番号（「荷送人電話番号」 欄）	×	○	×	○
荷受人コード（「荷受人」欄左）	×	○	×	○
荷受人名（「荷受人」欄右）	×	○	×	○
荷受人住所（「荷受人住所」欄）	×	○	×	○

項目名（入力画面）	HAWB情報の訂正			
	MAWBに対する輸入貨物 情報DBに混載情報有り		MAWBに対する輸入貨物 情報DBに混載情報無し	
	未 突 合	未 突 合 以 外	未 突 合	未 突 合 以 外
荷受人電話番号（「荷受人電話番号」欄）	×	○	×	○
到着便名（「到着便名」欄）	×	×	×	×
到着空港（「到着便名」欄）	×	×	×	×
到着年月日（「到着年月日」欄）	×	×	×	×
搬入年月日（「搬入年月日」欄）	×	×	×	×
個数（「個数」欄）	×	○（注2）	×	○（注2）
重量（「重量」欄）	×	○	×	○
保税蔵置場（「蔵置場」欄）（注3）	×	×	×	×
仕向地（「仕向地」欄）	×	○	○（注1）	○
運送種別（「種別」欄）	×	○	○（注1）	○
ULD（「U」欄）	×	×	×	×
突合済表示（「突合」欄）	×	×	×	×

（注1）AWB情報（HAWBの場合はHAWB情報）が登録済みで、かつ、貨物確認情報未登録の場合に訂正可。

（注2）増のみ訂正可。

（注3）入力者が混載業者の場合は訂正不可。

ロ 登録の方法

(イ) 呼出しによる場合

「輸入貨物情報変更登録呼出し」業務（業務コード：CAI）を利用して、「AWB番号」欄を必須入力し送信することにより、「輸入貨物情報変更登録呼出し結果情報」（出力情報コード：AAS1101）として、応答画面に出力されることから、出力された内容について確認の上、後記(ロ)（呼出しによらない方法）に準じて訂正を必要とする事項を入力し送信する。

(ロ) 呼出しによらない場合

「輸入貨物情報変更登録」業務（業務コード：CAI01）を利用して、次の事項を入力し送信する。

なお、先頭に「#」が付された項目は訂正不可。

[1] AWB番号（「AWB番号*」欄）

AWB番号が出力される。

[2] 到着空港（「到着空港」欄）

到着空港のIATAコード（「業務コード集」参照）が出力される。

[3] 品名（「品名」欄）

品名が出力される。

品名を訂正する場合は、訂正後の品名を入力する。

[4] 仕出地（「仕出地」欄）

仕出地の I A T A コード（「業務コード集」参照）が出力される。

仕出地を訂正する場合は、仕出地の I A T A コード（「業務コード集」参照）を入力する。

なお、仕出地がシステムに登録されていない場合は、「Z Z Z」を入力する。

[5] 総個数（「総個数」欄）

総個数が出力される。

総個数を訂正する場合は、総個数を入力する。

総個数を取り消す場合又は U L D 貨物の場合は、「X」を入力する。

[6] 総重量（「総重量」欄）

総重量が出力される。

総重量を訂正する場合は、訂正後の総重量を入力する。

総重量を取り消す場合又は U L D 貨物の場合は、「X」を入力する。

なお、小数点以下第 1 位まで入力することができる。

[7] 特殊貨物記号（「S P C」欄）

特殊貨物記号の S P C（特殊貨物）コード（「業務コード集」参照）が出力される。

特殊貨物記号を訂正する場合は、S P C（特殊貨物）コード（「業務コード集」参照）を入力する。

特殊貨物の旨を取り消す場合又は U L D 貨物の場合は、「X」を入力する。

[8] 社用品表示（「社用品」欄）

社用品である旨がシステムに登録されている場合は、「S V」が出力される

社用品である旨をシステムに登録する場合は、「S V」を入力する。

社用品である旨を取り消す場合又は U L D 貨物の場合は、「X」を入力する。

[9] 荷送人名（「荷送人」欄）

荷送人名が出力される。

荷送人名を訂正する場合は、訂正後の荷送人名を入力する。

[10] 荷送人住所（「荷送人住所」欄）

荷送人住所が出力される。

荷送人住所を訂正する場合は、訂正後の荷送人住所を入力する。

[11] 荷送人電話番号（「荷送人電話番号」欄）

荷送人電話番号が出力される。

荷送人電話番号を訂正する場合は、訂正後の荷送人電話番号を市外局番から入力する（区切り符号は入力しない。）。

[12] 荷受人コード（「荷受人」欄左）

荷受人の輸出入者コードが出力される。

荷受人コードを訂正する場合は、訂正後の荷受人コードの輸出入者コードを入力する。

[13] 荷受人名（「荷受人」欄右）

荷受人名が出力される。

荷受人名を訂正する場合は、訂正後の荷受人名を入力する。

[14] 荷受人住所（「荷受人住所」欄）

荷受人住所が出力される。

荷受人住所を訂正する場合は、訂正後の荷受人住所を入力する。

[15] 荷受人電話番号（「荷受人電話番号」欄）

荷受人電話番号が出力される。

荷受人電話番号を訂正する場合は、訂正後の荷受人電話番号を市外局番から入力する（区切り符号は入力しない。）。

[16] 訂正理由（「訂正理由」欄）

次の区分に応じたコードを必須入力する。

区 分	コード
個数以外の項目を訂正する場合	M S T
個数を減らす場合	S H T
個数を増やす場合	O V R

※ 以下 [17] から [19] までの項目は、最大 30 欄まで繰り返し出力される。

[17] 到着便名 1（「到着便名」欄左）

到着便名の便名部が出力される。

[18] 到着便名 2（「到着便名」欄中）

到着便名の日付部が出力される。

[19] 到着空港（「到着便名」欄右）

到着空港の I A T A コード（「業務コード集」参照）が出力される。

※ 以下 [20] から [28] までの項目は、最大 30 欄まで繰り返し入力することができる。

[20] 到着年月日（「到着年月日」欄）

到着年月日が出力される。

到着年月日の訂正する場合は、訂正後の到着年月日を西暦（8桁）で入力する。

[21] 搬入年月日（「搬入年月日」欄）

搬入年月日が出力される。

搬入年月日の訂正する場合は、訂正後の搬入年月日を西暦（8桁）で入力する。

[22] 個数（「個数」欄）

到着個数が出力される。

「HAWB情報登録（輸入）」業務（業務コード：H C H O 1）が実施されていない場合は、「0」を出力する。

訂正する場合は、訂正後の到着個数を入力する。

[23] 重量（「重量」欄）

到着重量が出力される。

「HAWB情報登録（輸入）」業務（業務コード：H C H O 1）が実施されていない場合は、「0. 0」を出力する。

訂正する場合は、訂正後の到着重量を入力する。

なお、小数点以下第1位まで入力することができる。

[24] 保税蔵置場（「蔵置場」欄）

貨物が蔵置されてある蔵置場の保税地域コード（「業務コード集」参照）が出力される。

訂正する場合は、訂正後の保税蔵置場の保税地域コード（「業務コード集」参照）を入力する。

[25] 仕向地（「仕向地」欄）

仕向地が出力される。

訂正する場合は、仕向地の I A T Aコード（「業務コード集」参照）を入力する。

[26] 運送種別（「種別」欄）

次の区分に応じたコードが出力される。

ULD貨物の場合は、「1」は入力不可。

区 分	コード
当該空港場貨物又は一般仮陸揚貨物	X
マル仮貨物又は仮・仮貨物	K
他空港向一括保税運送貨物	T
航空会社保税蔵置場向け社用品	1（イチ）
他空港向一括保税運送仮陸揚貨物	H
機移し貨物	M
運送種別未定	？

[27] ULD（「U」欄）

次の区分に応じたコードが出力される。

社用品の場合は「K」が、突合済みの場合は「U」が入力不可。

区 分	コード
ULD収容貨物	U
ULD	K
取消し	X

[28] 突合済表示（「突合」欄）

突合済みの場合は、「Y」が出力される。

ハ 出力情報

前記ロ（登録の方法）により輸入貨物情報が訂正された場合は、次の情報がそれぞれ配信される。

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
訂正控情報 (CORRECT NOTICE(CAI)) (※)	A A S 1 1 2 1	訂正が認められた場合。	登録者
		次の条件を全て満たす場合。 ① 登録者が航空会社又は混載業者である場合。 ② 訂正が認められた場合。 ③ 蔵置中であり、当該情報を出力する旨がシステムに登録されて	貨物が蔵置されている保税蔵置場

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
		いる場合。	
訂正保留控情報 (CORRECT SUSPEND NOTICE(CAI)) (※)	A A S 1 1 3 1	訂正が保留となった場合。	登録者
		次の条件を全て満たす場合。 ① 登録者が航空会社又は混載業者である場合。 ② 訂正が保留となった場合。 ③ 蔵置中であり、当該情報を出力する旨がシステムに登録されている場合。	貨物が蔵置されている保税蔵置場
訂正確認情報 (CORRECT NOTICE (CAI)) (※)	A A S 1 1 4 1	次の条件を全て満たす場合。 ① 登録者が保税蔵置場である場合。 ② 訂正が認められた場合。	保税蔵置場の管轄税関 (保税担当部門及び監視担当部門)
		次の条件を全て満たす場合。 ① 登録者が航空会社又は混載業者である場合。 ② 訂正が認められた場合。 ③ 登録者の所属する税関官署が管轄する保税蔵置場又は登録者の所属する空港地区と同一地区の空港保税蔵置場に蔵置されていない場合。	登録者の所在地を管轄する税関 (保税担当部門及び監視担当部門)
		次の条件を全て満たす場合。 ① 登録者が航空会社又は混載業者である場合。 ② 訂正が認められた場合。 ③ 登録者の所属する税関官署が管轄する保税蔵置場又は登録者の所属する空港地区と同一地区の空港保税蔵置場に蔵置されている場合。	到着空港で最初の貨物確認情報登録業務を行った保税蔵置場の管轄税関 (保税担当部門及び監視担当部門)
訂正保留確認情報 (CORRECT SUSPEND NOTICE(CAI)) (※)	A A S 1 1 5 1	次の条件を全て満たす場合。 ① 登録者が保税蔵置場である場合。 ② 訂正が保留となった場合。	保税蔵置場の管轄税関 (保税担当部門及び監視担当部門)
		次の条件を全て満たす場合。 ① 登録者が航空会社又は混載業者である場合。	登録者の所在地を管轄する税関 (保税担当部門及び監視担当部門)

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
		② 訂正が保留となった場合。 ③ 登録者の所属する税関官署が管轄する保税蔵置場又は登録者の所属する空港地区と同一地区の空港保税蔵置場に蔵置されていない場合。	監視担当部門)
		次の条件を全て満たす場合。 ① 登録者が航空会社又は混載業者である場合。 ② 訂正が保留となった場合。 ③ 登録者の所属する税関官署が管轄する保税蔵置場又は登録者の所属する空港地区と同一地区の空港保税蔵置場に蔵置されている場合。	到着空港で最初の貨物確認情報登録業務を行った保税蔵置場の管轄税関 (保税担当部門及び監視担当部門)
分割貨物完了情報 (SPLIT COMPELTION NOTICE) (※)	AAS0101	スプリット貨物について全量到着済みとなった場合。	到着空港単位に最初のAWB情報登録業務を行った航空会社
保税関係確認情報	AAL5010	税関届出用の特殊貨物記号が変更又は追加された場合。	登録者の所在地を管轄する税関 (保税担当部門)

※括弧内英字は帳票タイトル

2 MAWB情報削除後の処理

「AWB情報登録(輸入)」業務(業務コード:ACH)又は「貨物確認情報登録」業務(業務コード:PKG)により、いずれか最初に行われた登録においてMAWB情報を作成し、一定期間保存した後、削除する。

突合しなかった混載貨物の貨物情報について、MAWB情報のシステム保存期間を経過後において、貨物情報を突合させるため、訂正する場合は、次による。

(1) 不突合を突合させる場合

イ 当該不突合について、「輸入貨物情報変更登録」業務(業務コード:CAI01)を利用して、「突合済表示」欄に「Y」を入力することにより突合させる。

ロ 前記イにおいて突合させた後、さらに「輸入貨物情報変更登録」業務(業務コード:CAI01)を利用して必要箇所を訂正する。

(2) 未突合情報を突合させる場合

「輸入貨物情報変更登録」業務(業務コード:CAI01)を利用して、該当する項目に正しい情報を追加又は訂正入力するとともに、「突合済表示」欄に「Y」を入力する。

(3) 未突合又は不突合情報を削除する場合

「輸入貨物情報変更登録」業務（業務コード：CAI01）を利用して、「突合済表示」欄に「X」を入力する。

なお、当該貨物情報は、「輸入貨物情報変更登録」業務（業務コード：CAI01）の実施により、削除情報の登録の日から一定期間経過後にシステムから削除される。

(4) 未突合又は不突合情報の削除登録を取り消す場合

「輸入貨物情報変更登録」業務（業務コード：CAI01）を利用して、「突合済表示」欄に「R」を入力の上、送信する。

なお、該当する貨物情報がシステムから削除される前に限られる。

また、「輸入貨物情報変更登録」業務（業務コード：CAI01）を利用して訂正できない場合又は輸入申告等が行われた貨物情報について訂正等を必要とする場合は、後記4（輸入申告中における貨物情報の変更手続）により処理するものとする。

3 訂正保留となった場合の処理

(1) 不突合の場合

前記1(2)（HAWB情報の削除又は追加）又は(3)（混載貨物確認情報の削除又は追加）により、「訂正（保留）控情報B（CORRECT（SUSPEND）NOTICE）（括弧内英字は帳票タイトル）」（出力情報コード：AAS0281）が配信され、当該出力情報の「RMKS」欄に「PENDING」が出力された場合は、税関により訂正保留が解除されるまで、当該訂正保留となった貨物の後続業務を実施することができないことから、「NACCS登録情報変更申出」にAWB番号、訂正した内容及び事由等、必要事項を記入の上、税関（監視担当部門又は保税担当部門）に提出する。

なお、「NACCS登録情報変更申出」については、税関手続関連（共通編）-共通手続-第2章第2節（汎用申請関係手続）に定める「汎用申請」業務（業務コード：HYS）により提出することもできる。

(2) 突合後の場合

前記1(4)（輸入貨物情報の訂正）により、「訂正保留控情報（SUSPEND NOTICE（CAI））（括弧内英字は帳票タイトル）」（出力情報コード：AAS1131）が配信された場合は、税関により訂正保留が解除されるまで、当該訂正保留となった貨物の後続業務を実施することができないことから「NACCS登録情報変更申出」にAWB番号、訂正した内容及び事由等の必要事項を記入の上、税関（監視担当部門又は保税担当部門）に提出する。

なお、「NACCS登録情報変更申出」については、税関手続関連（共通編）-共通手続-第2章第2節（汎用申請関係手続）に定める「汎用申請」業務（業務コード：HYS）により提出することもできる。

4 輸入申告中における貨物情報の変更手続

前記1(4)（輸入貨物情報の訂正）に掲げる項目以外の項目の訂正又は輸入申告中における輸入貨物情報に係る登録事項の変更を必要とする場合は、「NACCS登録情報変更申出」にAW

B番号、訂正すべき内容及び事由等の必要事項を記入の上、税関（監視担当部門又は保税担当部門）に提出する。

なお、「NACCS登録情報変更申出」については、税関手続関連（共通編）-共通手続-第2章第2節（汎用申請関係手続）に定める「汎用申請」業務（業務コード：HYS）により提出することもできる。